

# 施策評価シート(平成25年度実績評価)

## ◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実	政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています	施策主管課	生活環境課	施策主管課長名	倉田 信勝	
	施策No.	5	施策名	安全な水の安定的供給	施策の目指す姿	安全でおいしい水をいつでも利用しています。	関係課名				
	現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>更新時期を迎える老朽施設が多く、更新にかかる経費の増加が見込まれることから、現在の給水原価水準の維持が懸念されています。</li> <li>井戸水や沢水を生活用水としている水道未普及地域において、渇水時の水不足や降水時の水質汚濁等により、生活用水の確保が困難になる地域があります。</li> </ul>								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

### (1) 安定した水の供給

#### ○ 岩手中部水道企業団による水の安定供給

- 安全な浄水の安定的な供給に努めたほか、広域的な水需要に対応した効率的な運営を図るため、平成26年4月からの花巻市、北上市、紫波町及び岩手中部広域水道企業団からなる岩手中部水道企業団の統合に向けて準備

### (2) 水道未普及地域の支援

#### ○ 水道給水区域外の浄水施設等による生活用水確保支援

- 岩手中部水道企業団の給水区域外の市内の水道未普及地域に居住する市民に対し、生活用水の確保のための浄水施設等への補助を実施

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
給水原価(1m <sup>3</sup> 当たりの給水にかかる費用)	1m <sup>3</sup> 当たりの給水にかかる費用であり、水の安定的な供給を示す指標	給水に要した総原価／年間有収水量	円/m <sup>3</sup>	目標値				224.5	225.9	229.2
				実績値	224.6	236.3	242.1			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	・「給水原価」については、H25の実績は統合前の花巻市水道事業における数値である。統合に当たっては、岩手中部水道広域化事業計画を策定し給水原価を定めており、H25年度の実績とH26以降の数値とは整合が取れていない。 H25の給水原価の上昇は、施設整備に伴う償却資産の増や施設の老朽化に伴う漏水の増加により有収率が悪化したことによるものである。

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	水道未普及地域対策事業 未普及地域における浄水施設等の対象施設の工事費の9割(上限270万円)を補助 (補助 4基)	生活環境課	A	上水道を利用できない世帯に対して安全な水を安定的に供給している。
2	南山地域水道施設整備事業 南山地域給水工事促進委員会が実施する水道施設整備事業に対して補助 (加入世帯 9戸)	生活環境課	A	当事業により、南山地域内の水道普及促進が図られた。

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

・各家庭の事情や生活条件などの要因により、浄水器等の設置が伸び悩んでいるが、水道未普及地域への安全な水の安定的な供給には公用不可欠な事業であることから、引き続き制度の周知に努める必要がある。

(今後の方向性)

・説明会の開催や個別訪問による制度の周知を図ってきたが、引き続き制度のPRに努める。